

# 目標設定シート (2009年度)

## 部局と評価項目・要素

対象部局	理工学部
大項目	0 理念・目的
中項目	
小項目	0.0.1 大学・学部・研究科等の理念・目的は、適切に設定されているか。
要素	理念・目的の明確化 実績や資源からみた理念・目的の適切性 個性化への対応
小項目	0.0.2 大学・学部・研究科等の理念・目的が、大学構成員（教職員および学生）に周知され、社会に公表されているか。
要素	構成員に対する周知方法と有効性 社会への公表方法
小項目	0.0.3 大学・学部・研究科等の使命・目的の適切性について定期的に検証を行っているか。
要素	

## ○2009年度からの目標

1. 理念、教育目的が新中期計画と矛盾していないか2010年度中に点検し、矛盾している場合2013年度中に再設定する。
2. 理念、教育目的を教員及び学生に対して2010年度中に周知する。
3. 学科単位での教育目的を2011年度中に設定し公表する。

### ※【理工学部の理念】

自然科学の基本原則とその応用について教育と研究をおこない、自然科学と建学の精神であるキリスト教主義を基盤において人類の進歩に貢献する。

### ※【理工学部の目的】

- 1) 数学、物理学、化学、情報科学、生命科学の幅広い分野にわたり、基礎的研究を中心におきながら応用も視野に入れ、それぞれの分野が相互に緊密な連携を保ちながら常に先端的でレベルの高い研究を行う。
- 2) しっかりとした自然科学の基礎知識と能力を身につけ、基礎を応用に繋げていくことが出来る柔軟な思考力を養い、未知の問題を発見していく能力と、その未知の問題に果敢に挑戦し、解決していくことが出来る能力に優れた、創造性に溢れた人材を育成する。
- 3) 自然科学の知識と能力とともに、幅広い教養を養い、キリスト教主義教育で培われた豊かな人間性と倫理観を備えた人材を育てる。
- 4) 社会との強い繋がりを絶えず念頭に置き、自然科学をととして社会に大きなインパクトを与え、また、その技術的応用を通して、人間の存在に進歩をもたらすことが出来る教育と研究ならびに人材の育成を行う。

## ○指標

1. 再検討結果の報告書。
2. 教員、学生への周知
3. 公表したホームページ